

北豊島中学校では生徒の健やかな学びと成長のために、様々な特色ある教育活動を展開しています。その一つとして、固定担任制を見直し、複数の先生で生徒を見守る全員担任制（チーム担任制）を導入しています。全国的に様々な自治体や学校で導入されはじめている全員担任制ですが、そのねらいや効果についてお伝えします。

全員担任制とは？

クラス運営をひとりの先生が担うのではなく、複数の先生で生徒を見守る仕組みです。

朝学活・終礼にも学年の先生が全員で関わります。

①自律する力を育む

「誰かのおかげ」、「誰かのせい」にしている限り、生徒たちは自律できません。固定した学級担任がないため、生徒たちで考える場面が増えます。それが、学校生活をつくる当事者意識につながります。

②相談しやすい環境

生徒たちの中には「この先生には相談できないけど、あの先生には相談できる」という場合があります。相談をする際の選択肢が広がり、いじめや不登校の深刻化を防ぐことにつながります。

Q.子どものことで相談したい時は、どの先生に連絡すればよいのでしょうか？
A.学年担任の誰にでもご連絡下さい。

Q.担任がないということは、生徒をじっくり見てくれないのでは？
A.教職員全員で生徒の情報を共有し、丁寧に見守っていきます。
複数の視点で生徒一人ひとりを見守っているため、問題発見が早くなります。

Q.個人懇談は誰にするのですか？
A.個人懇談は逆指名制で、生徒が懇談する先生を選びます。
生徒自身が自分をよく見ている先生、話しやすい先生を選ぶことで、進路のことや成績についてしっかり話すことができます。

③先生の働き方改革

複数の先生でクラスを受け持つことで、生徒やクラスが抱える課題について、意見を出し合いながら指導・支援にあたるので、問題を一人で抱え込むことがなく、先生の安心感につながります。

④きめ細かな指導

子どもは授業以外の場面でも良さや課題をみせることが多いものです。多くの先生が関わることで、生徒の良さや課題を多面的・多角的に見出し、よりきめ細やかな指導を行うことができます。

北豊島中学校の 学校教育目標

自律

尊重

創造